

令和元年11月15日
(2019年)

保護者の皆さまへ

吹田市立千里新田小学校
校長 有明 志郎

令和元年度 全国学力・学習状況調査結果の分析について

本年度、6年生を対象として「令和元年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9月上旬に個人ごとの結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

この調査は小学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語と算数に限られ、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことをまず踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。

対象となった6年生には、よりきめ細やかな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導方法の工夫改善も図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として、参考にさせていただきますようお願いいたします。

【報告の中の矢印は全国平均との関係を表している】

全国の正答率を上回る	↑
全国の正答率をやや上回る	↗
全国の正答率とほぼ同じ	→
全国の正答率をやや下回る	↘
全国の正答率を下回る	↓

1. 教科に関する調査結果の分析

●国語《各領域における成果と課題、指導のポイント》

話すこと・聞くこと ↗

全国の平均正答率とほぼ同じ、またはやや上回る良好な結果であった。
しかし、話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめることに課題がみられた。

書くこと

全項目において、全国の平均正答率を上回る良好な結果であった。

読むこと ↑

全国の平均正答率とほぼ同じ、または上回る良好な結果であった。

言語事項 ↑

全国の平均正答率とほぼ同じ、または上回る良好な結果であった。
しかし、漢字を文の中で正しく使うことに課題がみられた。

☆指導改善のポイント

- ・話し合い活動を通して、自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を聞き手が捉えられるようにする。
- ・自分の言葉を推敲し、条件に合わせた文章にする力をつける。
- ・文章を互いに読み合い、文章の構成や書き方を工夫した点について交流したり、助言し合ったりする学習活動を行う。
- ・文の構成や接続語の役割を理解し、伝えたいことを条件に合わせて書く練習を行う。
- ・同音異義語について注意するなど漢字の持つ意味を考えて文や文章の中で正しく使うことができるような学習活動を取り入れる。

●算数《各領域における成果と課題、指導改善のポイント》

数と計算 ↑

ほぼ全ての項目について、全国の平均正答率を上回る良好な結果であった。
しかし、算数的表現を使って除法の意味を説明する場面での課題がみられた。

量と測定 ↑

全項目について、全国平均正答率を上回る良好な結果であった。

図形 ↑

ほぼ全ての項目について、全国の平均正答率を上回る良好な結果であった。

数量関係 ↑

全項目について、全国の平均正答率を上回る良好な結果であった。
しかし、四則混合計算のきまりが定着していない。また、割合の意味理解に課題がみられた。

☆指導改善のポイント

- ・「答えは出せているのに自分の考えを説明できない」「理由を尋ねられても答えられない」という課題がみられる。「なぜ、そのように考えたのか」という根拠を明らかにし、求め方を文に表してから説明したり、他の児童の考えを代わりに説明したりする

機会を増やす。

- 整数、小数の乗法、除法の意味を確実に理解できるように、図や数直線などを活用していく指導を継続的に行っていく。
- 日常生活や算数の学習における事象を算数用語を用いて説明する活動を増やす。

2. 生活習慣や学校環境等に関する調査結果の分析

●全体の概要

自分自身のことについて

自分自身のことについては、肯定的な回答が多く、全国平均を上回っている。

家庭生活・地域生活について

家庭生活・地域生活については、肯定的な回答が多く、全国平均とほぼ同じか上回っている。

学校生活・学習について

学校生活についてはほぼ全員が「いじめはいけない」と回答しており、全国平均と同じか上回っている。

学習について「国語の勉強が好き」は全国平均を下回っている。そのほかの質問については肯定的な回答の割合は全国平均を上回っている。

●各領域の詳細

自分自身のことについて

「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」と9割9分が回答している。「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標をもっている」「人が困っているときは、進んで助ける」は、全国平均を上回っている。「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦する」は7割2分で、全国平均を下回っている。

家庭生活・地域生活について

「朝食を毎日食べている」は約9割5分で全国平均とほぼ同じである。「毎日同じ時刻に寝ている」は約8割、「毎日同じ時刻に起きている」は約9割で、ともに全国平均とほぼ同じ。

「家で自分で計画を立てて勉強をしている」は約7割で全国平均とほぼ同じであるが、「学校の授業時間以外に30分以上勉強する」は約9割で全国平均をやや上回っている。

「家の人と学校の出来事について話している」児童は約8割で全国平均をやや上回っている。

読書について、「読書が好き」と回答した児童が約7割5分で、「学校の授業時間以外の普段(月曜日から金曜日)の1日あたりの読書時間(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)」は「10分以上」が約6割5分、「昼休みや放課後、学校が休みの日に、本

(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行くか」は「年に数回以上」が約7割5分であり、いずれも全国平均を上回る。

また、週に1～3回以上の頻度で新聞を読んでいる児童は約2割であり全国平均とほぼ同じ。

地域生活について

「地域の行事に参加している」児童は約6割5分で全国平均とほぼ同じであるが、

「地域や社会をよくするために何をすべきかを考える」児童は約6割で全国平均を上回っている。また、「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいしてみたいと思う」児童は約7割5分、「日本や住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う」児童は約8割5分で、ともに全国平均を上回っている。

学校生活・学習について

「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と回答している児童は9割9分で全国平均とほぼ同じ、「学校のきまりを守っている」約9割6分、「先生は自分のよいところを認めてくれている」約9割で全国平均を上回っている。

算数では、「問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」は8割以上、「算数の勉強が好き」が6割6分、「学習したことを生活の中で活用できないか考える」は7割6分が肯定的な回答で、全国平均とほぼ同じである。「算数の勉強は大切」は9割6分、「内容はよく分かる」は約9割「学習したことは将来的に役に立つ」は9割5分が肯定的な回答で全国平均をやや上回っている。「問題を解くとき、もっと簡単に解く方法を考える」約9割肯定的な回答で、全国平均を上回っている。

国語では、「国語の勉強が好き」約6割が肯定的な回答で全国平均をやや下回っている。「国語の勉強は大切」約9割5分、「学習したことは将来的に役に立つ」約9割が肯定的な回答で、全国平均とほぼ同じである。「内容はよくわかる」約9割、「目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりする」約9割、「話や文章の組み立てを工夫する」7割4分が肯定的な回答で、全国平均を上回っている。

ICTの活用では、「ICTを活用したい」は約9割で全国平均を上回っている。道徳では、「自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる」は約9割で全国平均を上回っている。

☆今後の指導について

生活や学習の場面で、友だち同士が関わり、協力し合う取り組みを通して、それぞれの良さを発揮する場面を作り、引き続き自己有用感や自尊感情をはぐくんでいく。授業では、「めあて・課題の確認→自分の考えを書く→意見を交流する→わかったことや考えをまとめる」という授業の流れとともに、自分の考えをすすんで工夫して発表しようとする様子も定着しつつある。その中で、自分自身の学びや表現力の向上、友だちと学び合うことの良さが実感できるようにしていくとともに、難しいと感じることに仲間とともに挑戦できるような取り組みも進めていく。また、学習習慣の確立や主体的に取り組む力、自学自習の力も引き続き育成していく。

昨年度、課題だった箇所に改善が見られたのは、本当に嬉しいことです。
本校の児童の様々な課題が、少しずついい方向に向かっている。すなわち、本校の教育方針・教育活動・評価活動が間違っていないということです。

昨年度、最大の課題は、こう向上しました。	2018年度	2019年度
① 「自分には、よいところがあると思いますか？」	74.4%	⇒89.7%
② 「先生は、あなたのよいところを認めてくれて いると思いますか？」	81.6%	⇒91.3%
③ 「将来の夢や目標を持っていますか？」	78.2%	⇒92.2%

その他にも向上した事には、次のようなものもあります。

「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか？」	99.2%
「学校に行くのは楽しいと思いますか？」	89.8%
「人が困っているときは、進んで助けていますか？」	94.5%
「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか？」	99.4%
「人の役に立つ人間になりたいと思いますか？」	96%

これらの項目はどれも、全国平均、大阪府平均、吹田市平均を上回っています。
みんなすごくいい子に育っていますね。学校、家庭、地域の取組みの成果です。

逆に、全国や大阪より低い項目は、

「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか？」	72.4%
「国語の勉強は好きですか？」	61.4%
「算数の勉強は好きですか？」	66.9%

この3項目だけは全国や大阪府より下回っています。どうしたことなのでしょうね？

6年生は、すべての項目に「よい」でなければいけないのでしょうか？

国語も算数も音楽も体育も100点で、学級会ではいつも意見を言い、電車に乗ったら、お年寄りに席をゆずり、小さい子はおんぶしてあげる！？

どれも素晴らしいけど、しんどくないですか？ 本当に好きなこと、してるのかな？
でも、ひとつだけ確実に言えることがあります。子どもたちの笑顔が増えました。毎日、明るい歓声が教室から響いています。千里新田小は前に進んでいます。確実に。

いい学校の職員室には先生たちの口から、子どもたちのいいエピソードが飛び交います。

吹田市立千里新田小学校 校長 有明 志郎

